

高知大学病院：形成外科専門研修プログラム

I. プログラムの特色

高知県内外において、形成外科診療に関する専門的な知識、技術をまんべんなく修得することができる。

II. 目 標

熱傷、先天性形態異常、顔面や四肢外傷、良性・悪性腫瘍切除後の再建、瘢痕拘縮、難治性創傷など、全体表面の形態異常や欠損に対する診療を行うための解剖学、診断学、治療学に関する幅広い知識と技術を身につける。

また、患者およびその家族と十分にコミュニケーションがとれ、他診療科医師、メディカルスタッフとも円滑に協調、連携できる人間性豊かな形成外科専門医を目指す。

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	初期臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の研修病院		高知大学病院	千葉大学の連携施設 (千葉大学病院、君津中央病院、 松戸市立総合医療センター、新久喜総合 病院など)			高知県内の地域医 療施設 (あき総合病院、 幡多けんみん病 院、 高陵病院)	高知大学病院		あき総合病院、幡多けんみ ん病院など		高知大学病院またはあき総合病院等 希望者には国内外への留学					
診療以外の キャリア	-	-															
償還期間 消化年数	1年	2年	3年		-		4.5年		7年		9年						-

- ・2023年4月時点では、高知大学病院以外で、3つの地域医療施設（あき総合病院、幡多けんみん病院、高陵病院）で勤務が可能となっている。
- ・今後は、他大学の研修プログラムで連携施設となっている高知市内の中核施設と連携することでより多くの期間で高知県内で研修出来るシステムの構築を目指している。
- ・将来的にあき総合病院および幡多けんみん病院に常勤の形成外科専門医を派遣可能となれば、卒業後4～6年目に行く県外研修をそれに変更することが可能となる。
- ・専門医取得後、5年経過して専門医を更新する際にサブスペシャリティ2分野以上を取得の者は、指導医の取得が可能である。それまでの期間で、あき総合病院や幡多けんみん病院などで勤務することにより、奨学金の償還期間に達することができる。